k-Report

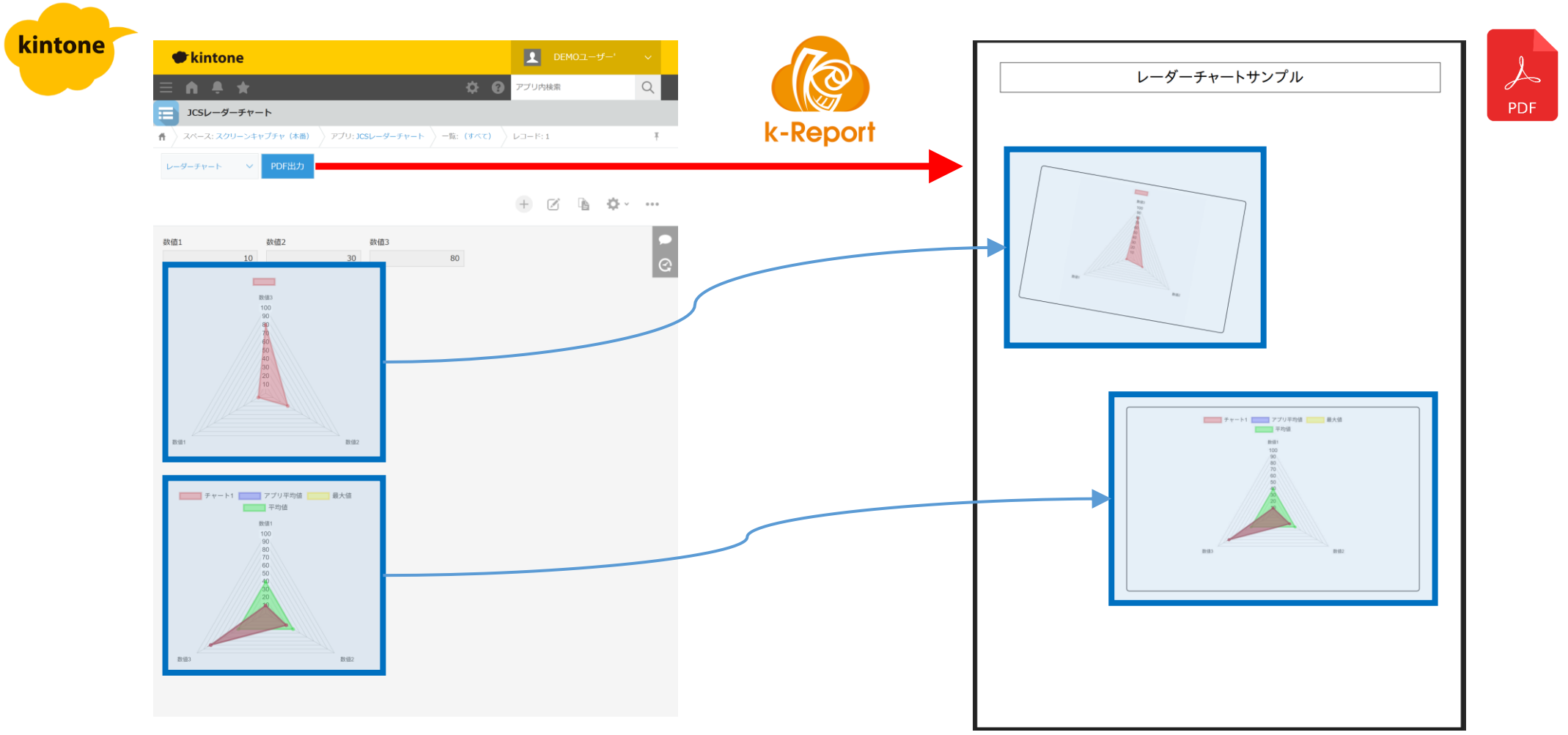
k-Report スクリーンキャプチャー出力
ご利用ガイド

V1.05

k-Report スクリーンキャプチャー出力 とは？

k-Report スクリーンキャプチャー出力 とは？

k-Reportで画面上のプラグインやJavaScriptの描画オブジェクトを「画面の見たままの状態でPDF出力」が可能になります



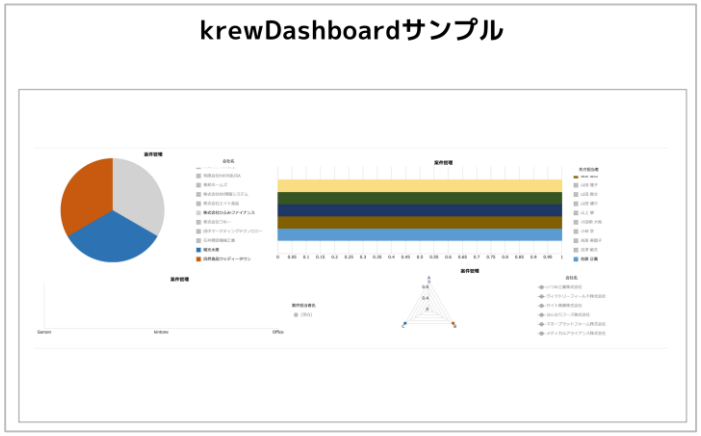
※本資料に掲載されたプラグイン名・製品名は各社の商標です。 ※PDFでの期待される画像描画はkintone画面上で正常にスクリーン画像が取得出来る事が前提です。

k-Report スクリーンキャプチャー出力 とは？

オペレーションをした「今その時」の画面をPDFに出力できます

kintone

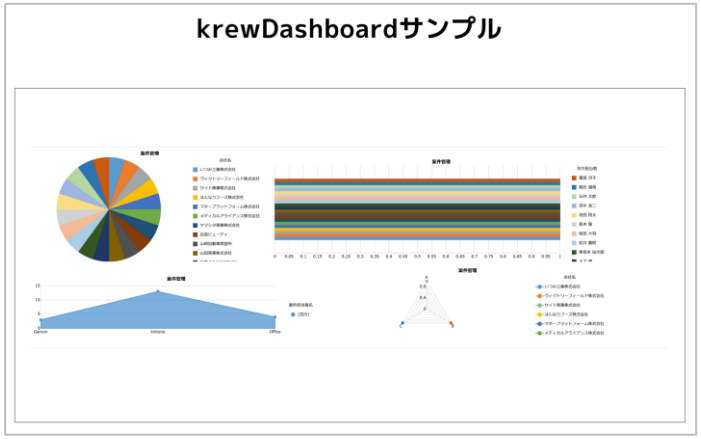
k-Report



PDF

kintone

k-Report

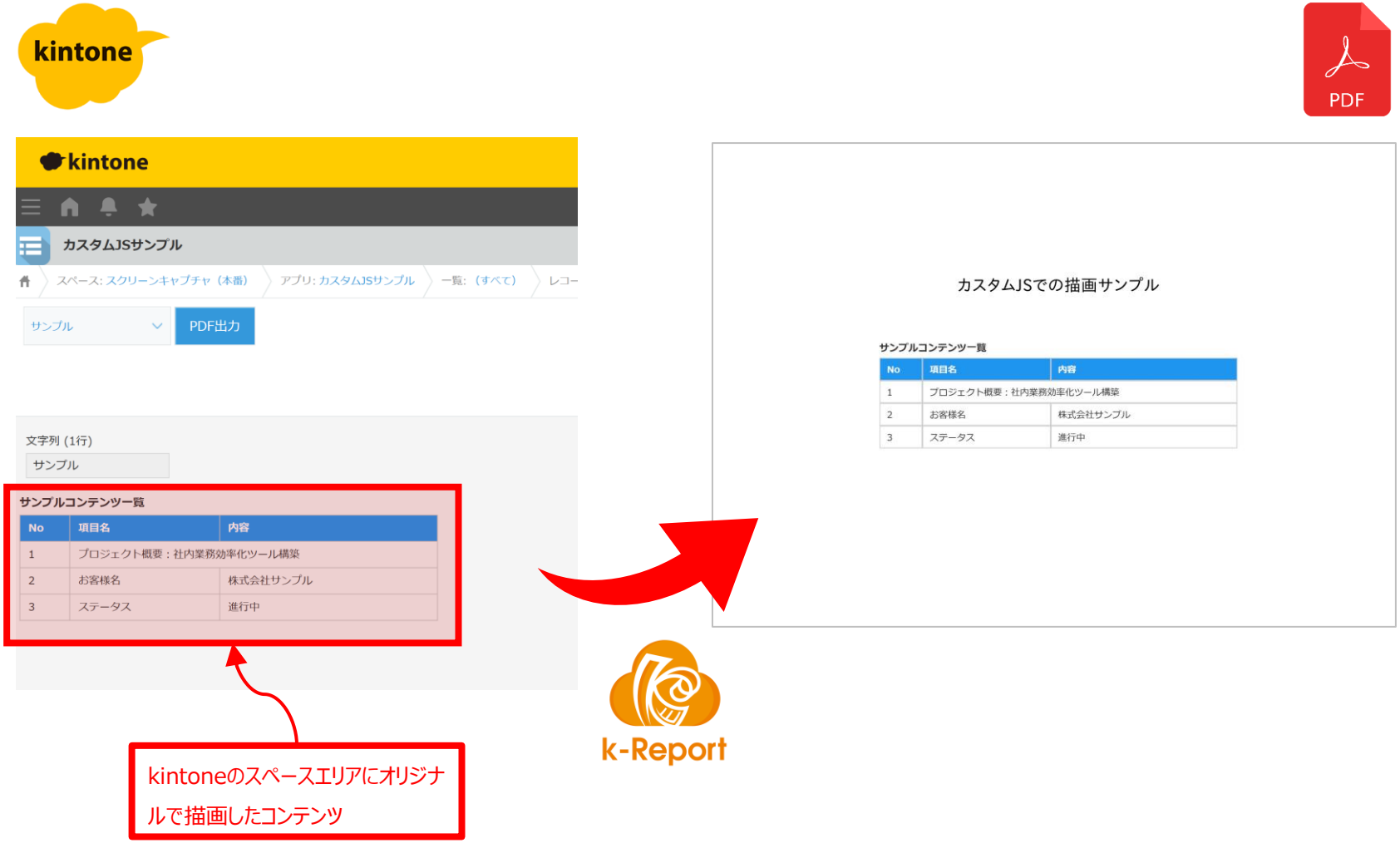


PDF

※本資料に掲載されたプラグイン名・製品名は各社の商標です。 ※PDFでの期待される画像描画はkintone画面上で正常にスクリーン画像が取得出来る事が前提です。

k-Report スクリーンキャプチャー出力 とは？

オリジナルのJavaScriptで描画した内容でも概ね動作します。



※本資料に掲載されたプラグイン名・製品名は各社の商標です。 ※PDFでの期待される画像描画はkintone画面上で正常にスクリーン画像が取得出来る事が前提です。

「スクリーンキャプチャー出力」サンプル

出力サンプルです。

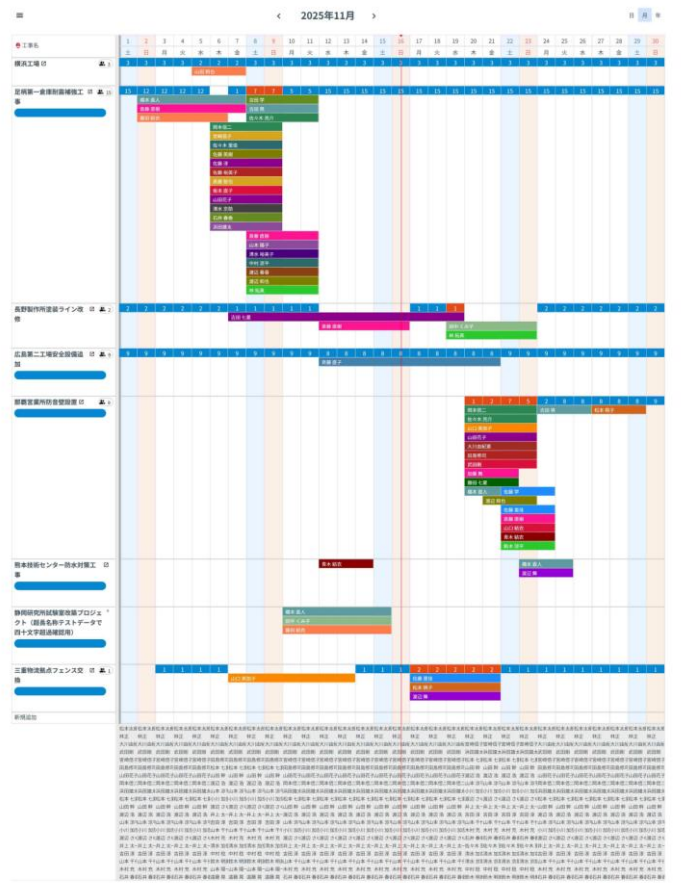
その他、プラグインやJavaScript等で画面に描画されているオブジェクトで利用可能です。

※本資料に掲載されたプラグイン名・製品名は各社の商標です。 ※PDFでの期待される画像描画はkintone画面上で正常にスクリーン画像が取得出来る事が前提です。

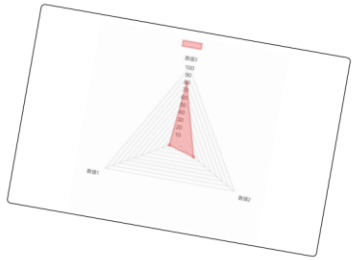
「スクリーンキャプチャー出力」サンプル

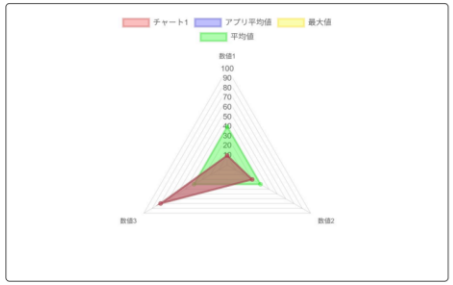
出力サンプルです。

人員配置サンプル



レーダーチャートサンプル



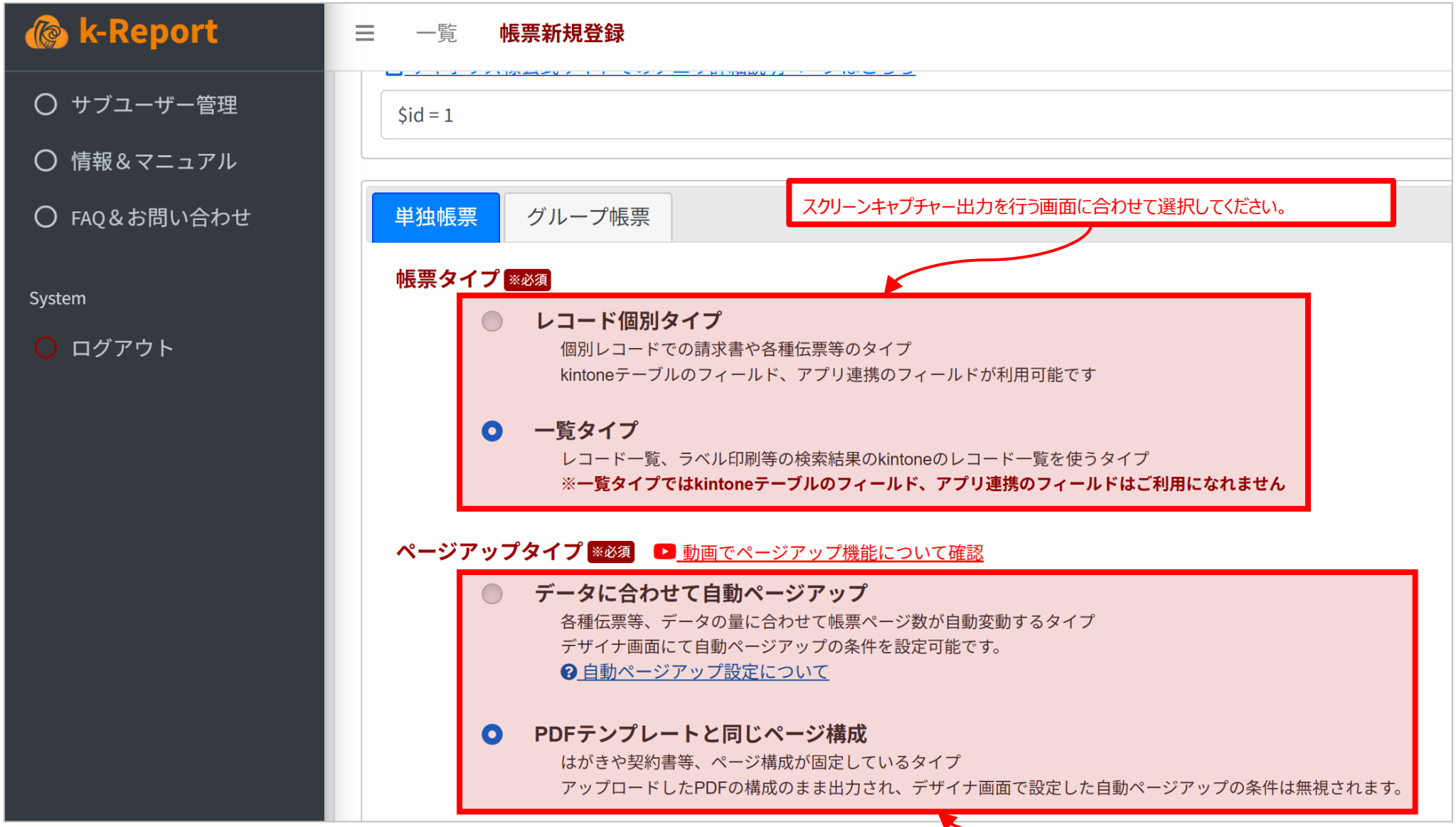


その他、プラグインやJavaScript等で画面に描画されているオブジェクトで利用可能です。

※本資料に掲載されたプラグイン名・製品名は各社の商標です。 ※PDFでの期待される画像描画はkintone画面上で正常にスクリーン画像が取得出来る事が前提です。

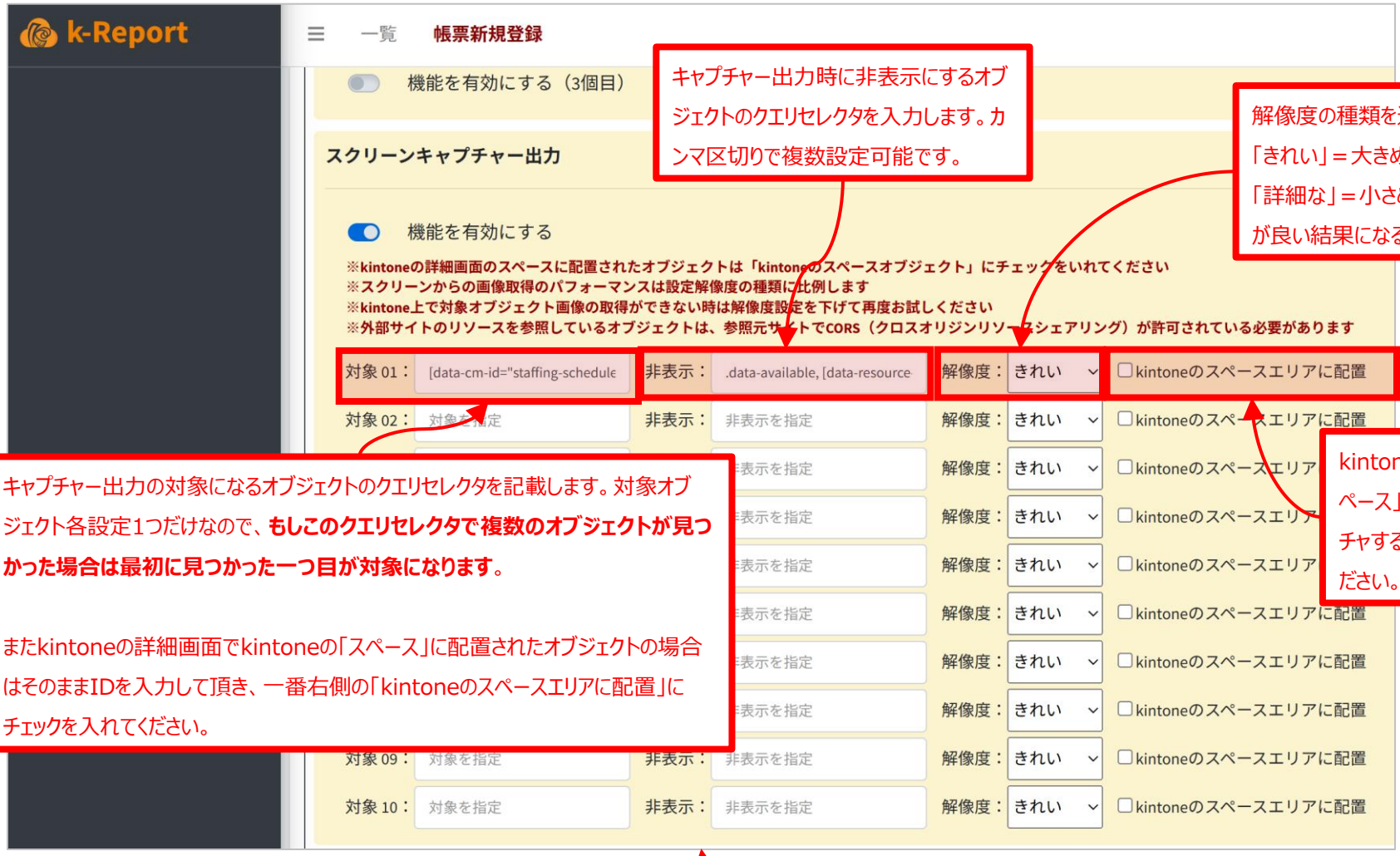
スクリーンキャプチャー出力の設定

スクリーンキャプチャー出力の設定



スクリーンキャプチャー出力の設定

スクリーンキャプチャー出力の設定は帳票の詳細設定ブロックの中に設定箇所がございます。



キャプチャー出力時に非表示にするオブジェクトのクエリセレクタを入力します。カンマ区切りで複数設定可能です。

解像度の種類を選びます。
「きれい」＝大きめのオブジェクト
「詳細な」＝小さめのオブジェクト
が良い結果になる事が多いです。

キャプチャー出力の対象になるオブジェクトのクエリセレクタを記載します。対象オブジェクト各設定1つだけなので、**もしこのクエリセレクタで複数のオブジェクトが見つかった場合は最初に見つかった一つ目が対象になります。**

またkintoneの詳細画面でkintoneの「スペース」に配置されたオブジェクトの場合はそのままIDを入力して頂き、一番右側の「kintoneのスペースエリアに配置」にチェックを入れてください。

kintoneの詳細画面でkintoneの「スペース」に配置されたオブジェクトをキャプチャする時にはこちらにチェックをいれてください。

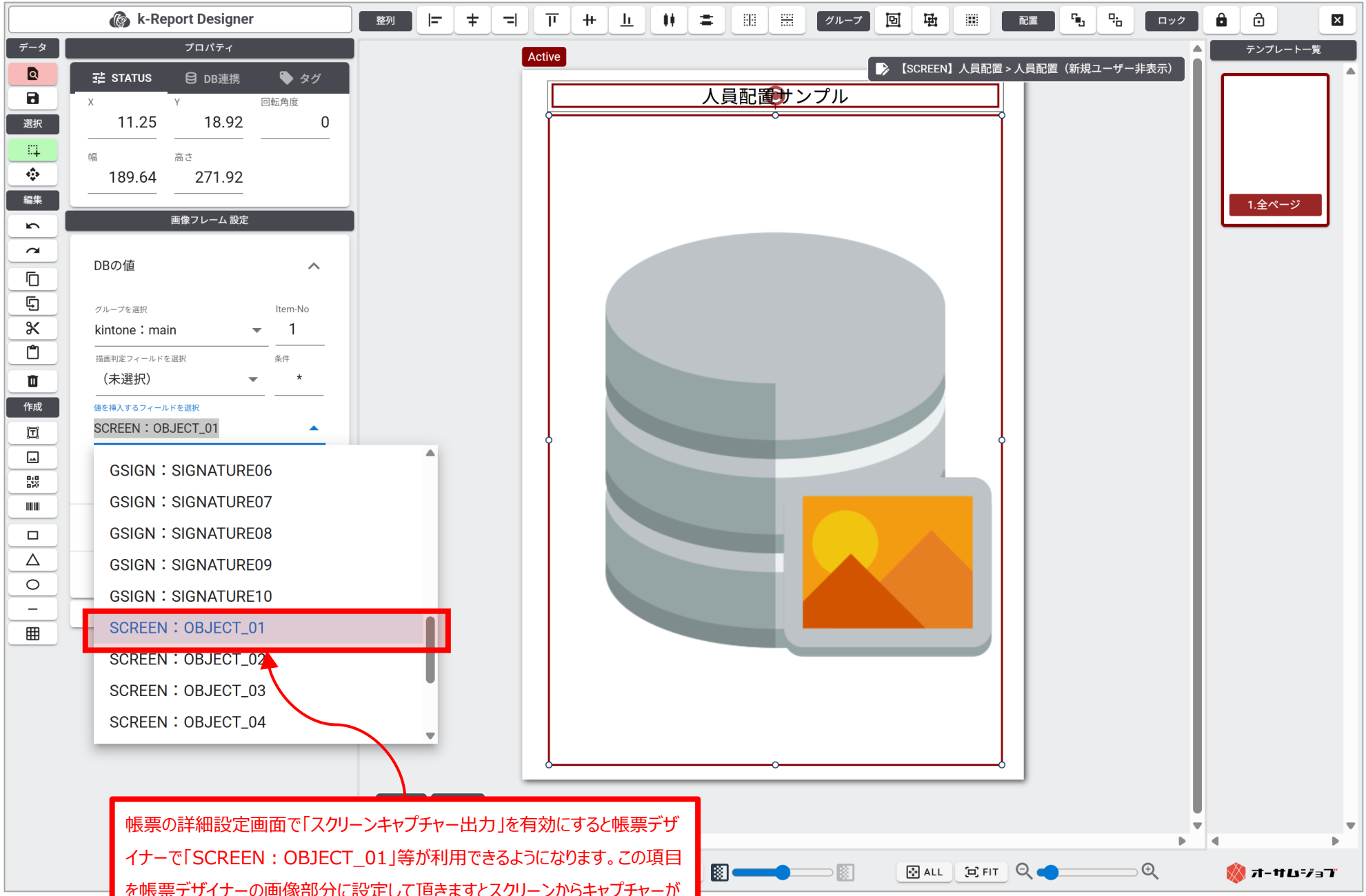
【クエリセレクタ例】

ターゲットオブジェクトが
xxxx
の場合は
#tareget

ターゲットオブジェクトが
xxxx
の場合は
.tareget

キャプチャ対象になるオブジェクトは1帳票の付き合計で10個まで設定可能です。

スクリーンキャプチャー出力の設定



帳票の詳細設定画面で「スクリーンキャプチャー出力」を有効にすると帳票デザイナーで「SCREEN：OBJECT_01」等が利用できるようになります。この項目を帳票デザイナーの画像部分に設定して頂きますとスクリーンからキャプチャーが正常に取得出来た場合、この指定エリアに画像として配置されます。

主要プラグインメーカーでのクエリセレクタ設定例

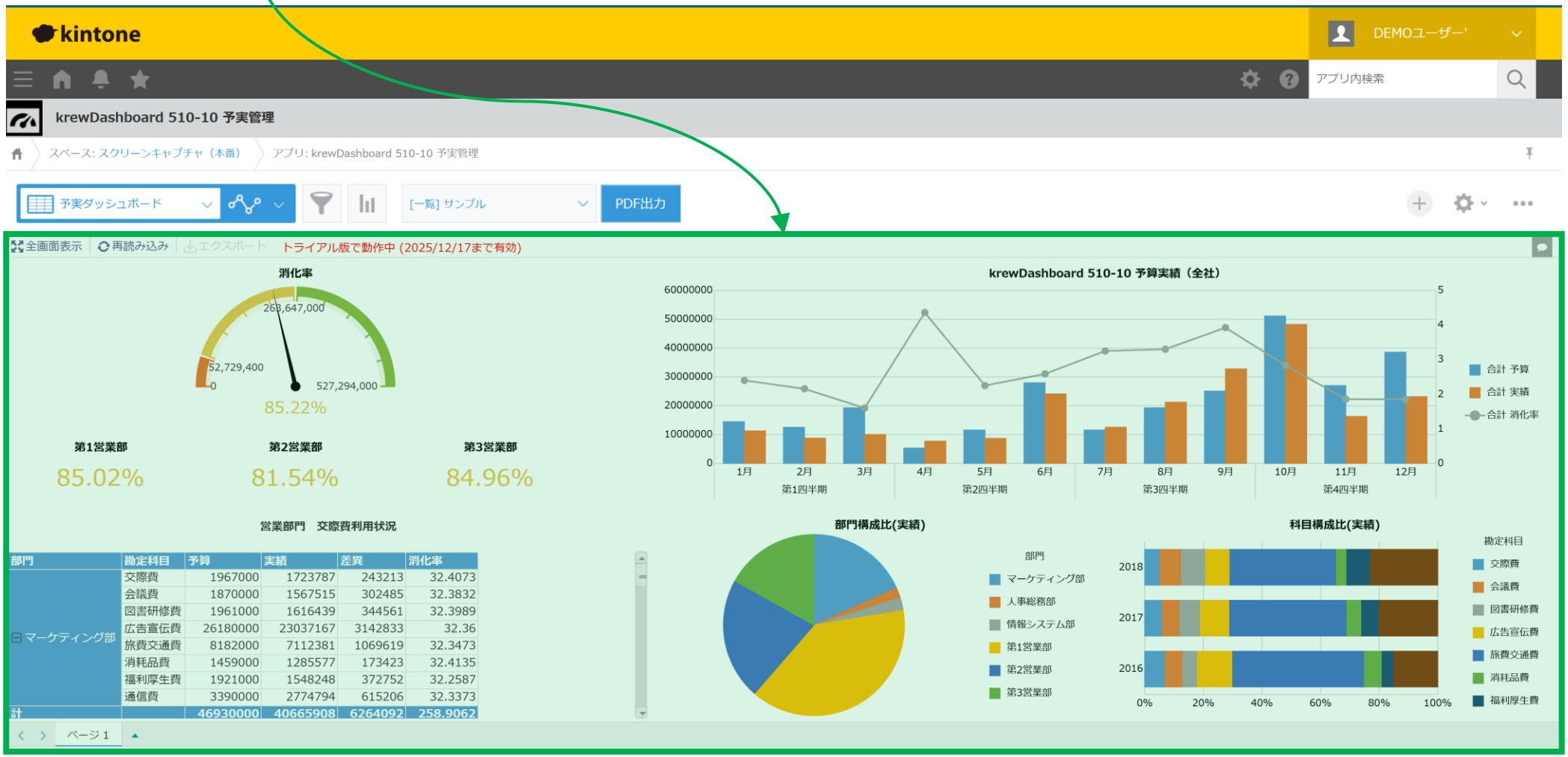
主要プラグインメーカーでのクエリセレクタ設定例

メシウス社：krewDashboard

メインエリアのクエリセレクタ

#krewdashboard

を対象オブジェクトに設定



部門	勘定科目	予算	実績	差異	消化率
マーケティング部	交際費	1967000	1723787	243213	32.4073
	会議費	1870000	1567515	302485	32.3832
	図書研修費	1961000	1616439	344561	32.3989
	広告宣伝費	26180000	23037167	3142833	32.36
	旅費交通費	8182000	7112381	1069619	32.3473
	消耗品費	1459000	1285577	173423	32.4135
	福利厚生費	1921000	1548248	372752	32.2587
	通信費	3390000	2774794	615206	32.3373
計		46930000	40665908	6264092	258.9062

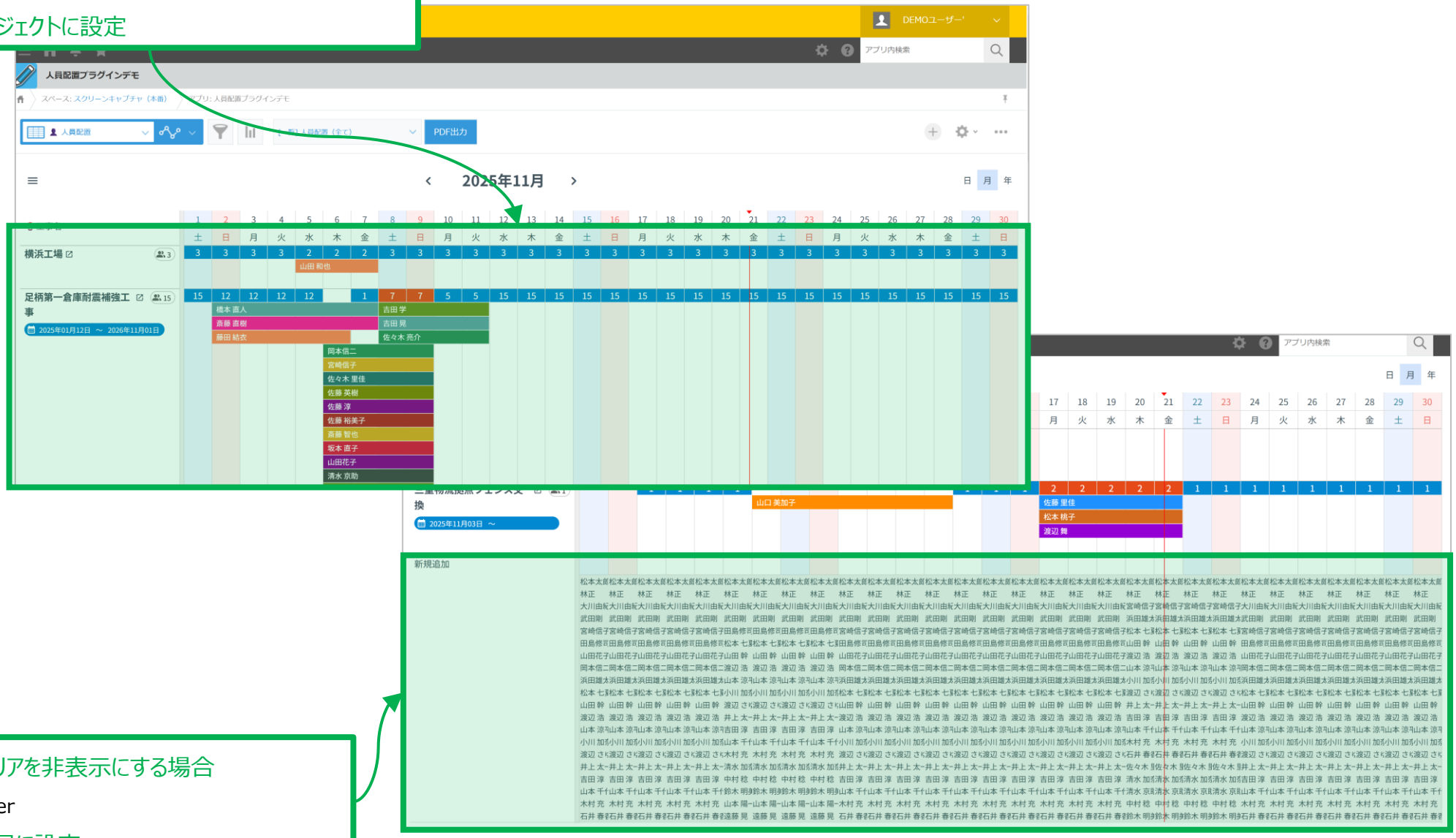
主要プラグインメーカーでのクエリセレクタ設定例

ペパコミ社：人員配置プラグイン

メインエリアのクエリセレクタ

[data-cm-id="staffing-scheduler"]

を対象オブジェクトに設定



新規追加エリアを非表示にする場合

.events-footer

を非表示項目に設定

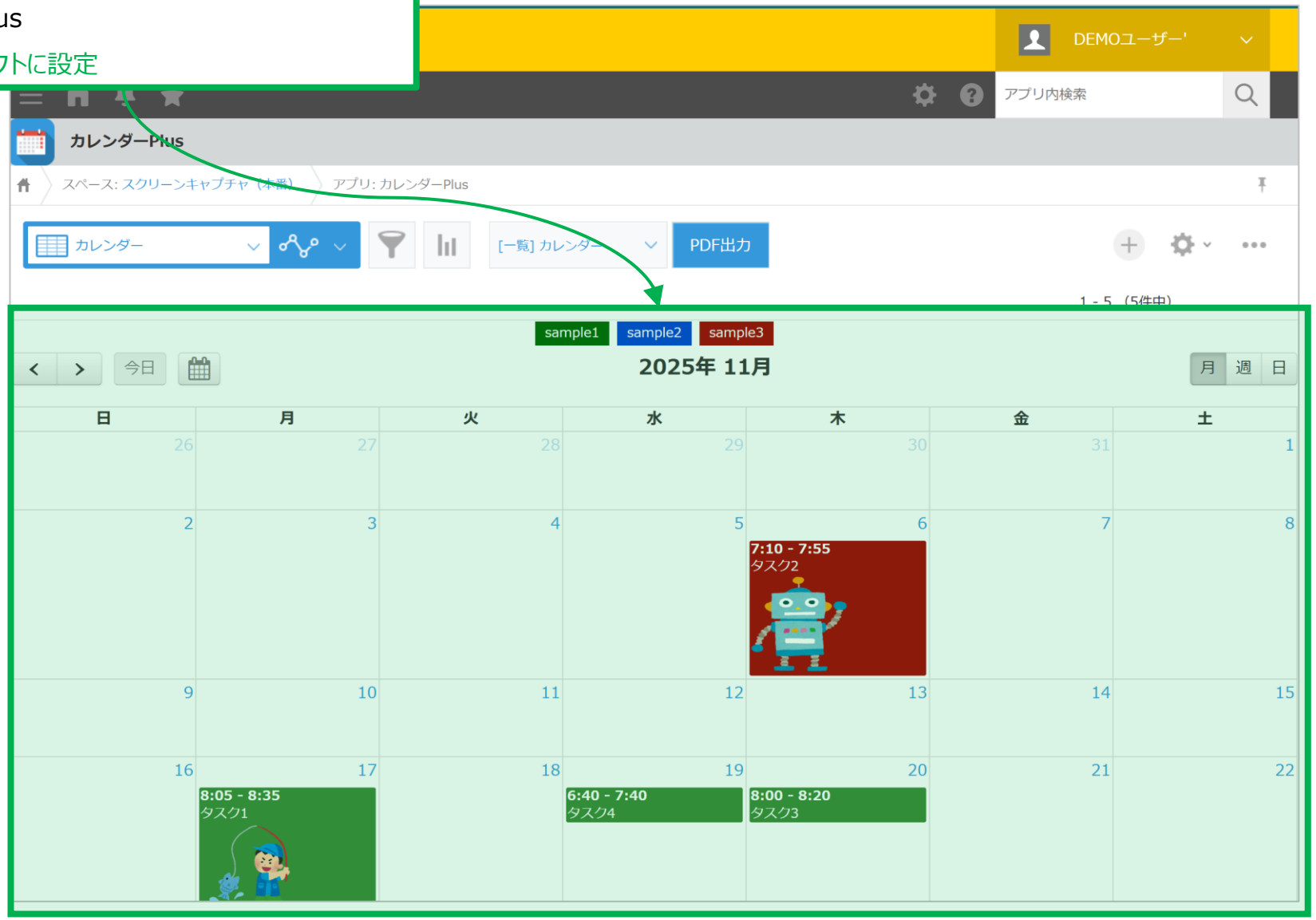
主要プラグインメーカーでのクエリセレクタ設定例

ラジカルブリッジ社：カレンダーPlus

メインエリアのクエリセレクタ

#calendarPlus

を対象オブジェクトに設定



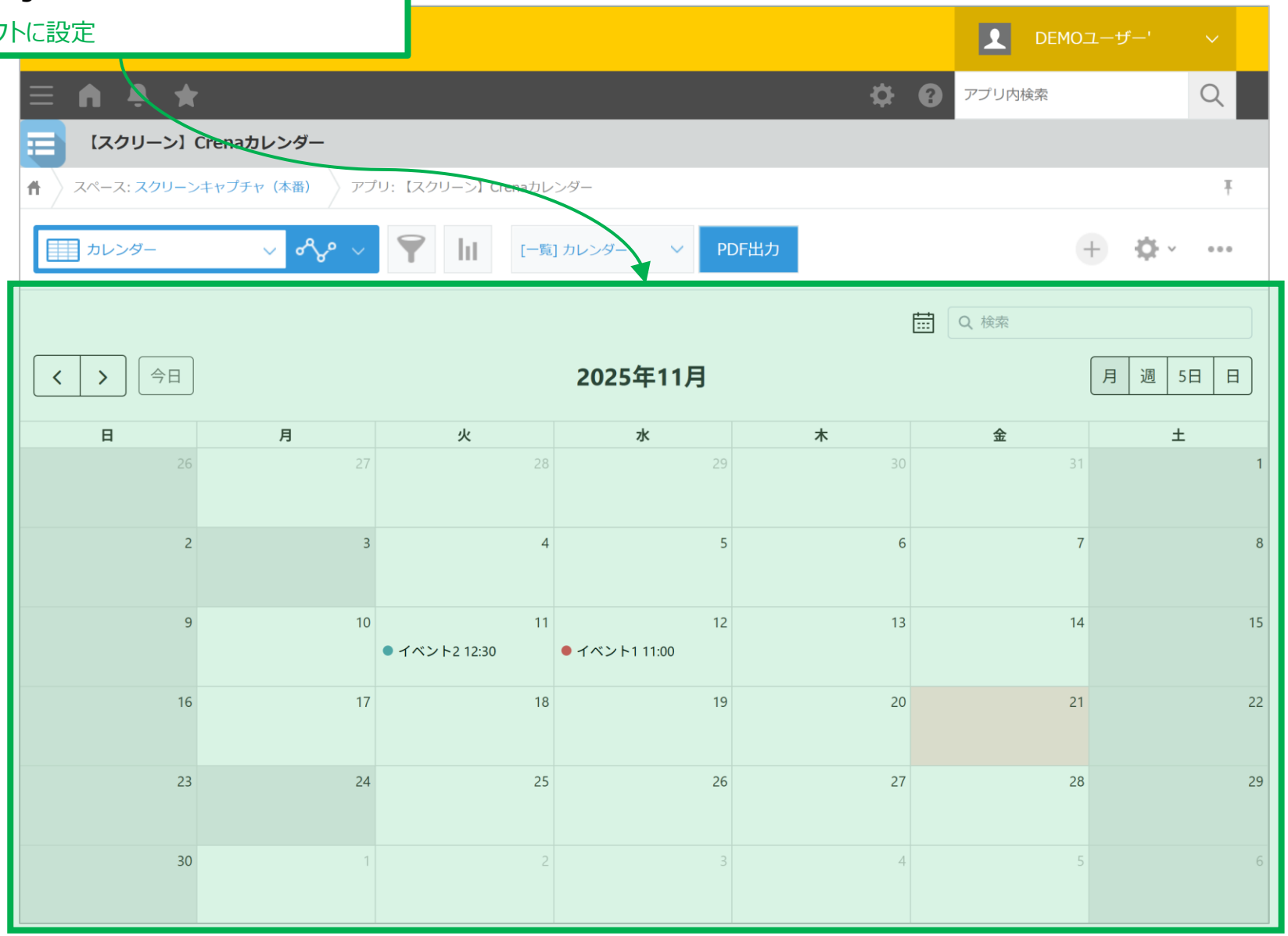
主要プラグインメーカーでのクエリセレクタ設定例

Crena社：カレンダー

メインエリアのクエリセレクタ

#calendar-plugin

を対象オブジェクトに設定



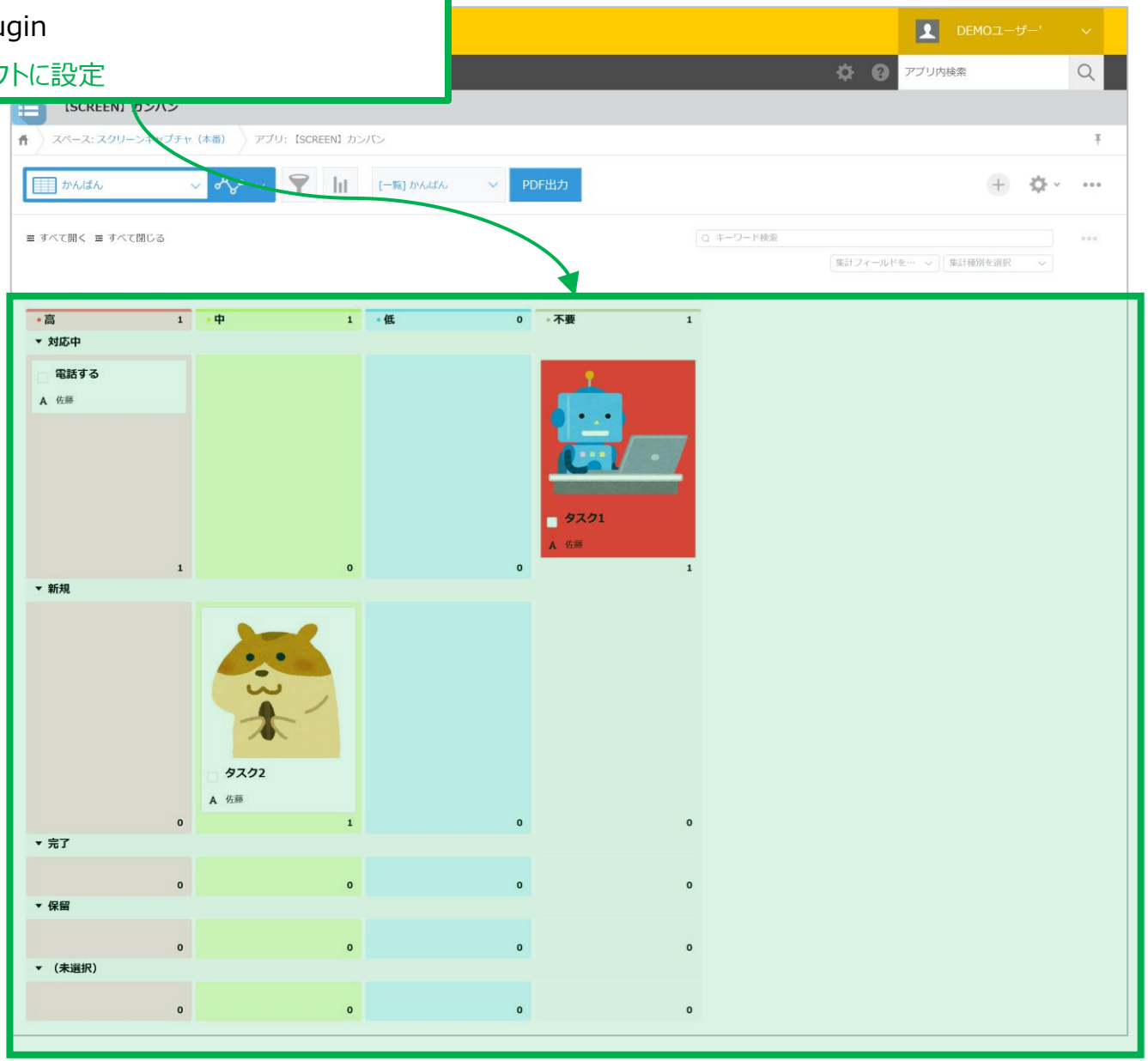
主要プラグインメーカーでのクエリセレクタ設定例

Crena社：かんばん

メインエリアのクエリセレクタ

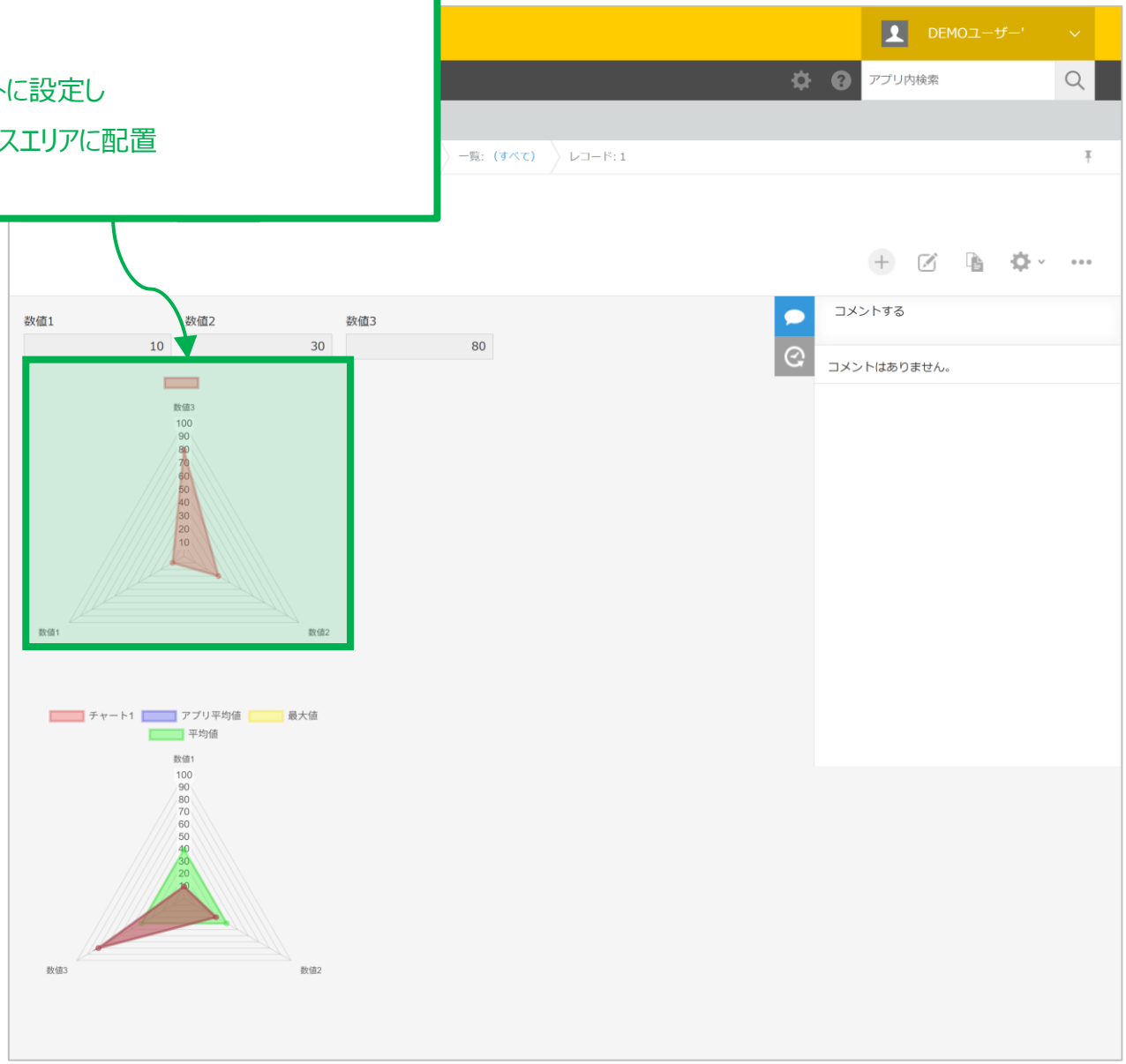
#kanban-plugin

を対象オブジェクトに設定



ジャパンコンピューターサービス社：レーダーチャート

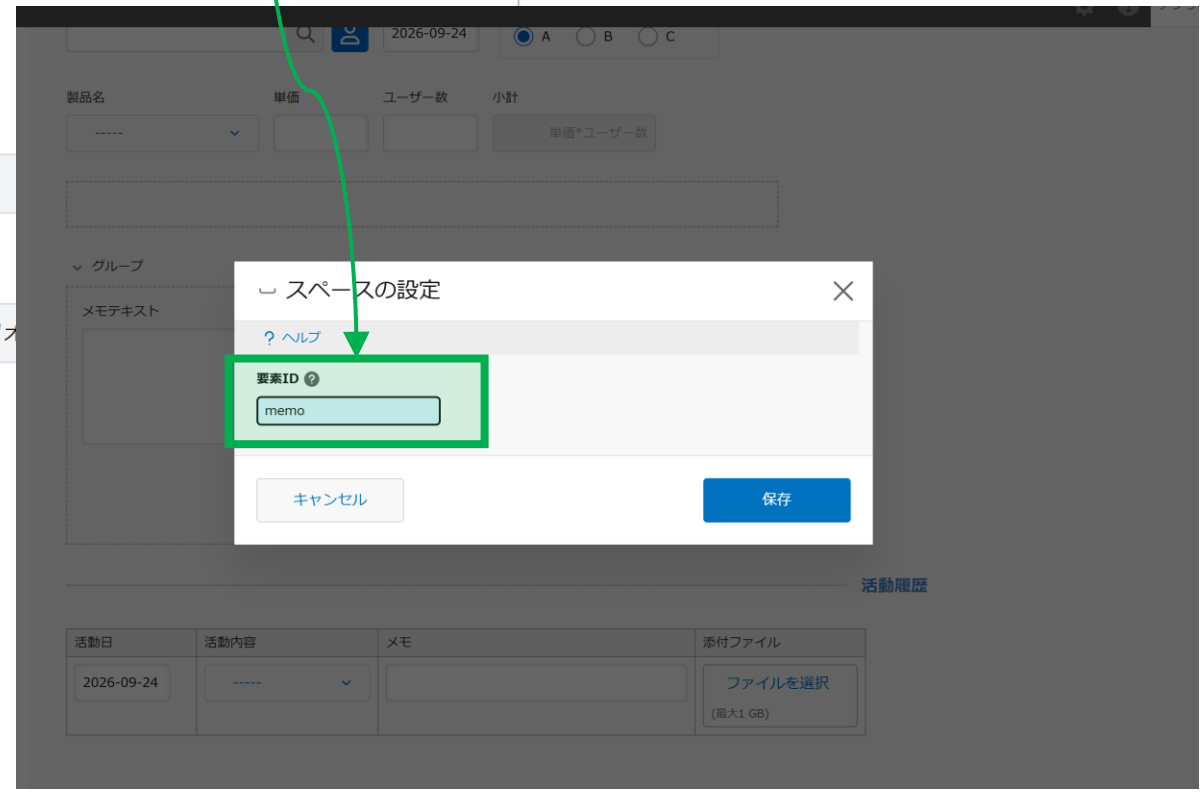
メインエリアのクエリセレクタ
RadarChart1
を対象オブジェクトに設定し
kintoneのスペースエリアに配置
にチェックを入れる



主要プラグインメーカーでのクエリセレクタ設定例

M-SOLUTIONS株式会社：Smart at AI for kintone Powered by GPT

この例の場合、メインエリアのクエリセレクタ
memo
を対象オブジェクトに設定し
kintoneのスペースエリアに配置
にチェックを入れる。



Smart at AIとkintoneで設定した要素のIDをk-Reportのメインエリアのクエリセレクタに設定します。

クエリセレクタの調査方法

クエリセレクタの調査方法

もしkintone内の該当オブジェクトのクエリセレクタ文の調査を行いたい場合は基本的にはWeb開発等の技術者様にご相談をお願いいたします。一般的な調査方法としては

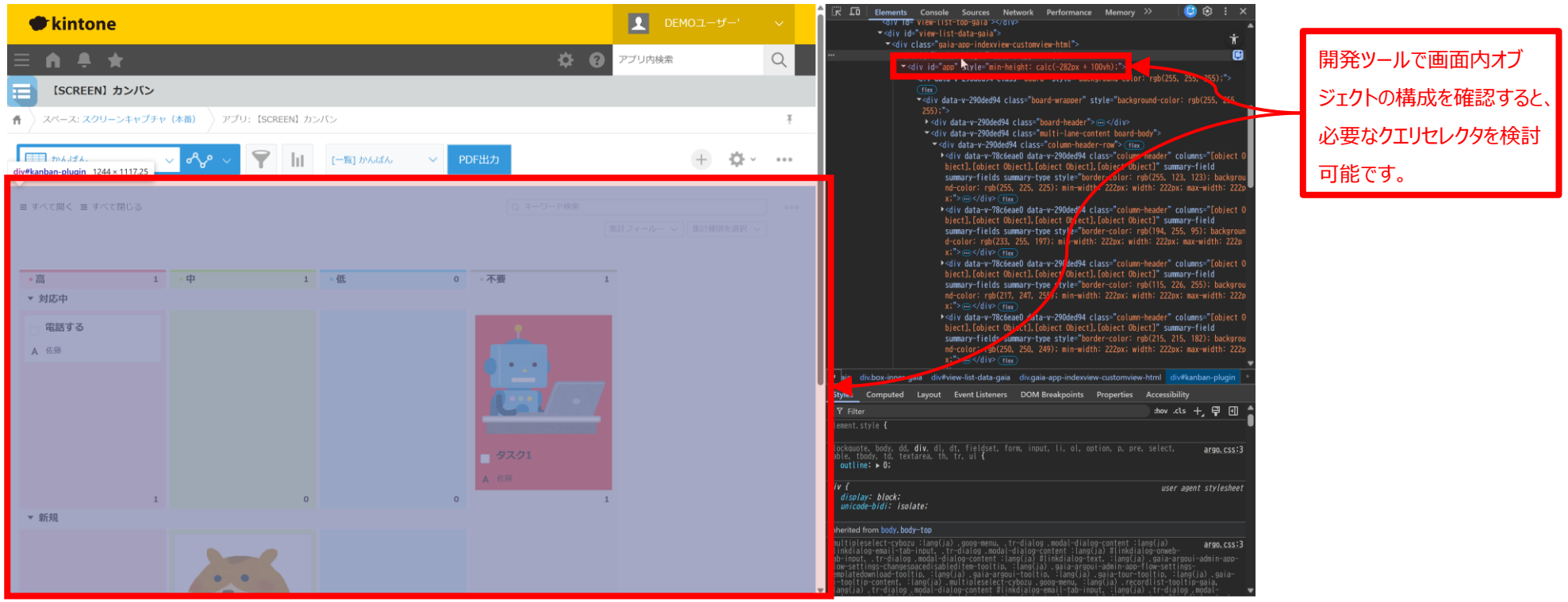
①ブラウザに該当のオブジェクトを画面に表示する

②開発者ツールの「Elements」でオブジェクトの構造を調査する

③ターゲットになるオブジェクトエリアのTOPに配置されたHTMLタグ構造を確認する

で、どのようなクエリセレクタが必要になるのか確認可能です。

技術的な内容になる事と、プラグインやカスタムJavaScriptの作りによって大きく変わりますのでオーサムジョブではサポートは行っておりません。調査につきましてはWebエンジニアの方にご相談頂けますと幸いです。



開発者向け

【開発者向け】スクリーンキャプチャー出力専用JavaScriptイベント

k-ReportでPDF出力時のJavaScriptイベントを取得可能です。このイベントを利用する事でPDF生成時に画面上のオブジェクトを任意の状態に変更する事も可能です。

（例）「PDF出力時には不要と思われるボタンを非表示にする」等を任意に追加可能

```
// サンプル
function KRD_registerEventHandlers() {
  // キャプチャ前イベント
  KRD_Events.on('before.capture', (event) => {
    console.log('Before Capture:', event);
  });

  // キャプチャ後イベント
  KRD_Events.on('after.capture', (event) => {
    console.log('After Capture:', event);
  });

  console.log('[INFO] KRD_Events.ready イベントを受け取り登録完了');
}

// KRD_Eventsが既に存在する場合は即座に登録、存在しない場合はreadyイベントを待つ
if (window.KRD_Events) {
  KRD_registerEventHandlers();
} else {
  window.addEventListener('KRD_Events.ready', KRD_registerEventHandlers);
}
```

画像キャプチャ前イベント

画像キャプチャ後イベント

スクリーンキャプチャー出力機能の注意事項

スクリーンキャプチャー出力機能の注意事項

k-Report APIやバックグラウンドバッチ処理等、画面が描画されない状態では本機能ではご利用いただけません。また外部リソース（外部サイトの画像等）を含む場合は提供元サイトにてCORS設定またはuseCORSオプションが必要となります。

NG

- モバイル環境の出力
- 一覧画面からのサーバー上での多数ページPDF生成
- 一覧画面からのバッチ処理的なPDF生成
- k-Report APIでのPDF生成等、画面上にオブジェクトが描画されないPDF出力
- 外部サイトのリソース（画像等）を画面上で読み込んでいて、参照元がCORS設定されていない時

本機能のターゲットブラウザ

「スクリーンキャプチャー出力」の機能は主にGoogle Chromeをターゲットとして開発しています。FirefoxやSafari等ではレンダリング技術の一部互換性の関係より「ほぼ対応可能ですが、一部レイアウトで互換性に課題あり」としています。ご了承ください。

■Windows

- Google Chrome → 【推奨】ほぼ問題無し
- Microsoft Edge → 【推奨】ほぼ問題無し
- Firefox → 【非推奨】ほぼ問題無いが、一部レイアウトで互換性に課題あり

■macOS

- Google Chrome → 【推奨】ほぼ問題無し
- Firefox → 【非推奨】ほぼ問題無いが、一部レイアウトで互換性に課題あり
- Safari → 【非推奨】ほぼ問題無いが、一部レイアウトで互換性に課題あり